

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■検査項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
49	2136	カルシトニン	検査方法	ECLIA	RIA 2 抗体法	国際標準品を用いた non-RIA 試薬への変更。 検査方法、基準値、報告範囲、保存温度、検体取扱い、その他、参考文献の変更。 所要日数の短縮。
			基準値	男性 9.52 以下 女性 6.40 以下 (pg/mL)	(総合検査案内参照)	
			報告範囲	0.50 未満、 0.50~99900000	10 以下、 10~1600、 1600 以上	
			保存	凍結	冷蔵	
			所要日数	3~6 日	5~9 日	
			備考	速やかに遠心分離後、凍結保存してください。	(記載なし)	
56	2291	ヒト癌胎児性 フィブロネクチン	容器 および 採取方法	W5 (別掲をご参照ください)	W5	現行試薬販売中止による後継試薬および新採取容器への変更。

■変更期日

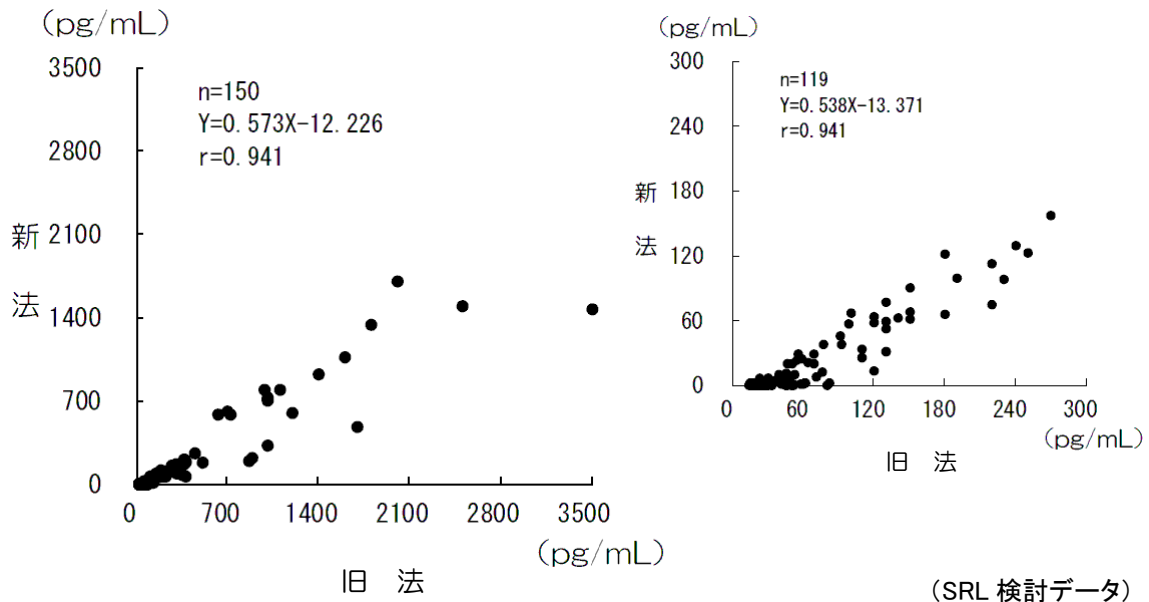
- 2015年3月31日(火)受付日分より

以上

カルシトニン

WHO推奨の国際標準品を用いたnon-RIA試薬へ変更させていただきます。測定感度が向上し、所要日数が短縮されます。変更に伴い、検査方法、基準値、報告範囲、検体保存温度、その他参考文献を変更させていただきます。なお、基準値はメーカー設定値です。

■新旧二法の相関



■参考文献

- 北側 亘, 他: 医学と薬学 72(1):97~108, 2015.(検査方法参考文献)
岩瀬 克己: 外科治療 105(4):347~352, 2011.

ヒト癌胎児性フィブロネクチン


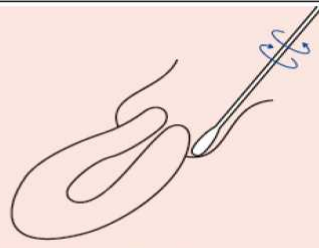
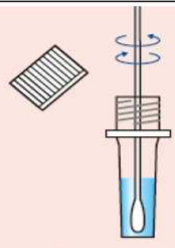
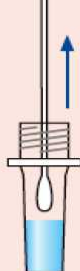


現試薬販売中止に伴い、新試薬に変更いたします。併せて、採取容器および検体採取方法を変更させていただきます。

■新旧二法の相関

		現法	
		-	+
新法	-	28	2
	+	1	23

一致率: 94.4% (n=54)
(SRL検討データ)

■新容器形状および採取方法

容器形態	検査項目	保存
(W5)	ヒト癌胎児性フィブロネクチン	凍結
採取方法		
 <p>内容 抽出液 貯蔵方法 室温 有効期間 1年</p>	<p>①</p>  <p>専用綿棒を後腔円蓋に挿入し、約10秒間回して分泌物を吸収させます。 【ご注意】 検体採取時に無理な力がかかると、綿棒が折れる可能性がありますので、十分ご注意ください。</p>	<p>②</p>  <p>検体抽出容器の白色キャップをはずし、分泌液を吸収させた綿棒を浸けて、5回程度綿棒を回します。(この際、容器から液がこぼれないよう注意してください。)</p>
	<p>③</p>  <p>綿棒を検体抽出容器から引き抜きます。</p>	<p>④</p>  <p>検体抽出容器に検体濾過フィルターを取り付けます。</p>
	<p>⑤</p>  <p>検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて必ず凍結保存してください。</p> <p style="text-align: center;">測定試料</p>	<p>●注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> • 検体の採取は膣洗浄前に行ってください。 • 検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。 • 検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。